

2020年度からの学年暦と授業期間の変更について

山梨英和大学

学長 菊野 一雄

2020年度から、山梨英和大学はクォーター制を併用したセメスター制を採用し、前期・後期それぞれの授業数を14回とし、一回の授業時間を95分とします。

学期ごとの授業数は16回より2回減りますが、総授業時間数に関しては、これまでの「80分×16回＝1,280分」と比べると、「95分×14回＝1,330分」となり、これまで以上の時間数が確保されます。

これによって、これまで以上の総授業時間を確保しつつ、ゆとりをもった学年暦を作り上げるとともに、従来の授業方法だけではない多様な魅力ある授業を展開し、一層の教育効果を高めることを目的として、別表に示すとおり授業時間割の変更を決定しました。

この新しい授業時間割は2020年度より導入する予定であるため、実質的には、現在の学部1年生、2年生、3年生、大学院1年生が在学中に変更の影響を受けることになります。授業時間割が変更された際には、半期の授業実施期間は短縮されるものの、1日あたりの授業時間は延長されることになり、学修環境・学生生活への影響は少ないものと予想されます。

本学の教職員一同、新しい体制がより教育研究効果を上げるように努めますが、学生の皆さんも、新たな授業時間割の概要を予めご承知いただき、本変更の主旨をご理解くださるようお願いいたします。

以下に、この変更によって見込まれるメリットを箇条書きにしますと、

- ゆとりをもった学年暦を作り上げるとともに、従来の授業方法だけでなく、討論やプレゼンテーション・グループ学習など、アクティブラーニング（学生の主体的・協働的な学びを促進できる授業）を推進し、多様な魅力ある授業を展開し、一層の教育効果を高めることができます。
- 授業実施期間を各学期につき2週短縮することで、休業期間におけるインターンシップや留学等の学外活動、ボランティア活動、正課外活動等に活用できる夏期・春期休暇の期間をこれまで以上に確保できるようになります。
- 学生の学習と自修のバランスが適度に調整されて、能動的学修への取り組みと、学習効果向上が、今まで以上に期待できます。

本学は、この変更を機に、皆さんの学修環境・学生生活をさらに充実したものにできるよう、全力をあげて取り組んでいきますので、学生皆さんのご協力とご理解をお願いします。

1. 授業時間変更（2020年4月から開始）

（1）授業時間及び回数を以下へ変更します。

	2020年度以降（変更後）	2019年度まで（変更前）
半期科目	「95分×14回」	「80分×16回」
クォーター科目	「95分×7回」（週1回）または 「95分×14回」（週2回）	「80分×8回」（週1回）または 「80分×16回」（週2回）

（2）次のとおり時間帯を変更し、学部及び大学院を対象とします。

	2020年度以降（変更後） 95分授業	2019年度まで（変更前） 80分授業
1時限	9:00～10:35	9:00～10:20
チャペルアワー	10:40～11:00	10:25～10:50
2時限	11:05～12:40	10:55～12:15
昼休み	12:40～13:30	12:15～13:05
3時限	13:30～15:05	13:05～14:25
4時限	15:15～16:50	14:35～15:55
5時限	17:00～18:35	16:05～17:25
6時限	設定なし	17:35～18:55

※夏季集中講義時間帯及びキリスト教教育週間時間帯については別途設定します。

2. 学年暦

授業時間帯変更に伴い、授業週を現行の半期16週から14週へ変更します。